

四万十市体験型観光受入研究会だより

幡多公設地方卸売市場での体験学習

幡多公設地方卸売市場では、修学旅行生を受け入れて、市場ならではの体験を行うためのメニュー作りに取り組んでいます。

今年はずでに10月15日に幡多地域内小学校児童によるカツオたたき体験、11月15日に下田中学校2年生による市場体験を行いました。

市場体験では、朝早くから、市場の迫力ある「せり」の見学、モニターでの物流の仕組みや、市場に入ってくる青果物や水産物についての学習のほかに、果物の糖度検査や、冷凍庫でのマイナス40℃の世界の体験も行われました。

また、レンコ鯛の開き作り体験や、市場ならではの新鮮な食材を使った朝食も提供され、参加した生徒からは「初めての体験ばかりで、勉強になった」との意見が多数寄せられました。

11月25日には高知県観光アドバイザーの藤澤安良氏を講師として招き、幡多地域の観光関係者も集まって、実際に市場体験を行うインスタクターのための研修会が行われました。体験者からはさまざまな意見が出され、講師からも多くのアドバイスをいただきました。

高岡理事長からは「修学旅行生を受け入れて、普段皆さんが口にしてる食の流通過程を知ってもらい、生産者の大変さ、食のありがたみや安全性を伝えるとともに、卸売市場の役割やその重要性を認識してほしい」と思っている。本日いただいたアドバイスを取り入れ、よりよい体験内容へと更に磨き上げていきたい」とのお話がされました。



研修会後の意見交換(11月25日)



下田中学校 レンコ鯛の開き体験(11月15日)

【問い合わせ先】

四万十市体験型観光受入研究会事務局(観光課)

☎(34)1783